

クリニカルリーダーの考え方

パトリシア・ベナー「習技能得段階モデル」を一部改変

レベル	習技能得段階モデル	習得能力	到達レベル
<新人> 初心者	・原則論に添った行動は限定され、柔軟性がない (看護学生レベル)	基礎能力開発	1. 社会人・専門職としての自覚、責任が持てる 2. 看護基準・手順に添った安全で安楽な看護技術が提供できる 3. チームメンバーの役割と責任が理解できる 4. 日常の看護を振り返り、自己に必要な学習に取り組める
<レベルⅠ> 新人に類する	・繰り返し起こり意味のある状況的要素に注目する しかし実践にはガイドラインが必要である	基礎能力開発	1. かろうじて及第点の業務をこなすことができるレベル 2. 社会人として自覚し行動する
<レベルⅡ> 一人前	・意識的に自分の行動ができるようになる ・何が重要か、何が無視できるかはっきりしている ・行動は刺激-反応パターンから計画的になる	実践能力の育成	1. 一通りの技術を習得し、通常の業務の中で判断に伴う看護実践を一人で行う 2. 済生会の組織人として行動する
<レベルⅢ> 中堅	・状況を部分というよりも全体としてとらえる ・ものの見方は思考的によるものではなく、経験や “最近のできごとに根ざした現在そこにあるもの”である	リーダーシップ能力の育成	1. 臨床での出来事を分析的にとらえることができる 2. 済生会の組織人としての行動のモデルを示す
<レベルⅣ> 達人	・部分的な原則(ルール・ガイドライン)には頼らない ・状況を直感的に把握し問題領域に正確にねらいをつける	マネジメント能力の育成	1. その領域で考えられる最高の看護実践の展開ができる 2. 専門職業人、済生会の組織人として行動し、指導する

- * 新人は、見守り・支援を受けながら1年後には基本的看護が提供できる。(1年間)
 基本的看護技術では、観察・測定結果から導きだされる看護実践(アセスメント・統合能力・経過が複雑な患者の看護)が十分ではない。(1年後)
 標準化した治療・看護の提供(クリニカルパス等)はできる。

人材育成研修プログラム

＜レベル及び研修プログラム＞					習熟段階 *レベルⅠ～Ⅳは臨床実践能力の段階を示す。なお、レベル4以上から、管理、スペシャリストへの領域へ進むことができる
	到達レベル	研修内容			
		本部	ブロック	施設	
レベルⅣ	<ol style="list-style-type: none"> その領域で考えられる最高の看護実践の展開ができる 専門職業人、済生会の組織人として行動し、指導する 	<ul style="list-style-type: none"> 新人看護職員教育担当者研修 		ミドルリーダー研修	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">管理者領域</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">スペシャリスト領域</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">レベルⅣ</div>
レベルⅢ	<ol style="list-style-type: none"> 臨床での出来事を分析的にとらえることができる 済生会の組織人としての行動のモデルを示す 	<ul style="list-style-type: none"> 中堅看護師研修 新人看護職員指導者研修（看護部長会主催） 	中堅看護師研修	リーダーシップ研修	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">レベルⅢ</div>
レベルⅡ	<ol style="list-style-type: none"> 一通りの技術を習得し、通常の業務の中で判断に伴う看護実践を一人で行う 済生会の組織人として行動する 			<ul style="list-style-type: none"> 人間関係の研修 看護倫理の研修 看護過程の研修 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">レベルⅡ</div>
レベルⅠ	<ol style="list-style-type: none"> かろうじて及第点の業務をこなすことができるレベル 社会人として自覚し行動する 			<ul style="list-style-type: none"> 組織人として 基本的技術に関する研修 メンバーシップ研修 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">レベルⅠ</div>